

# 複数校合同チームによる大会参加について(確認事項)

大分県高等学校体育連盟

## 1 複数校合同チームのあり方・基本的な考え方

### (1) 趣旨

少子化により単独でのチーム編成が困難な学校が増加している中、これらの学校における部活動の成果を試す機会を確保するために導入するものである。したがって決して勝利至上主義的な発想に基づくチーム編成であってはならない。部員不足のため部活動の継続が困難となり、複数校合同での活動が行われている場合とする。

### (2) 対象

- ① 学校の統廃合に伴う複数校の合同チームの大会参加（統廃合完了前の2年間に限る）※上位大会出場可能
- ② 部員不足等に伴う複数校合同チームの大会参加（原則、エントリーできないチーム同士の合同編成とする）

### (3) 条件

- ① 合同チームの各校は、それぞれの学校教育計画に基づいて活動していること。
- ② 複数の都道府県や広域通信制及び混成過程による合同チームではないこと。
- ③ 編成期間は、予選会参加申込から当年度の3年生登録抹消時までとする。
- ④ 参加申込手続きは各校の校長が承認の上、連署で競技部長に申請すること。（様式1～3：県高体連HPダウンロード）
- ⑤ 引率は、各校の校長が認める各校の職員等とする。但し、やむを得ない場合は、各校の校長が合意した代表引率とする。
- ⑥ 合同チームの監督・コーチ等は、各校の校長が認める指導者とする。
- ⑦ 合同チームの参加料・引率に係る経費等は、各校で協議し按分すること。

## 2 学校の統廃合に伴う複数校合同チームの大会参加について(補足説明)

- ① 統廃合の予定があっても合同チームを編成せず、単独チームで出場することもできる。  
これについては、学校ごとではなく部活動ごとに取り扱うものとする。
- ② 同一競技において、選手が単独チームと合同チームの両方から大会に出場することはできない。

## 3 部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について(補足説明)

- ① 部員不足に伴う複数校合同チームの地区予選会及び県大会出場を認める。原則、上位大会の出場は認められない。
- ② 部員不足に伴う合同チームの編成については下記の条件を満たした場合、認めることとする。  
ア 対象となる学校長が認めた合同練習等が、定期的に行われていること。  
イ 原則、編成は近隣の学校同士によるものとする。  
ウ 原則、編成はどちらも部員不足である場合において合同チームの編成を認める。
- ③ 合同チームを編成する場合は、勝利至上主義的な発想で行われることのないように十分留意をする。

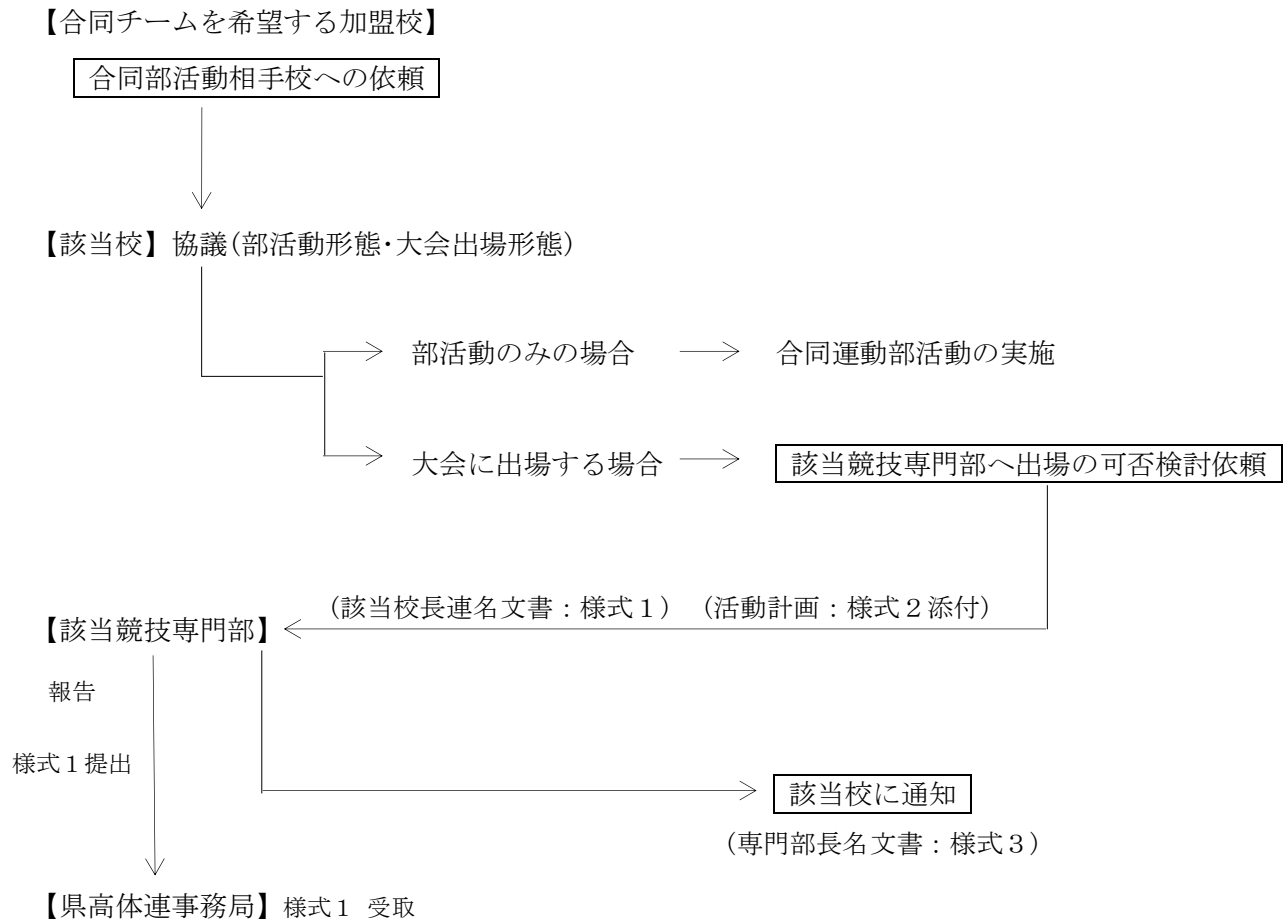
## 4 全国高体連規程等について(令和5年度4月1日より追加)

- ① 全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」により、以下の団体競技は上位大会に出場することができる。（上位大会とは高体連主催大会をいう：全九州高等学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会等）

水球	バスケットボール	バレーボール	ハンドボール	サッカー	ラグビーフットボール	ソフトボール
ホッケー	アイスホッケー					(計9競技)

- ② 詳細は、全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
- ③ 県新人大会における複数校合同チームの上位大会（九州・全国）出場は、競技団体が定める上位大会の実施要項に合せて、競技専門部毎に県新人大会競技要項内に定めること。

5 合同チームでの部活動・大会出場に関する手順



令和5年4月1日以降の注意事項

部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程により、全国高校総体に出場できる9競技については、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」及び全国専門部が定める「競技別不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」の要件を満たしているか該当専門部で確認し、県高体連事務局の承認後、当該校に通知する。